

心理教育実践専攻

心理教育実践コース

科目区分		授業科目	必修	選択		
必修科目	共通科目	心理学研究法特別演習(子どもの心を科学する研究を読み解く)	2			
		課題研究	4			
	臨床心理士・公認心理師関連科目	臨床心理学特論Ⅰ (心理)	2			
		臨床心理学特論Ⅱ (心理)	2			
		臨床心理面接特論Ⅰ(心理支援に関する理論と実践) (心理) ★	2			
		臨床心理面接特論Ⅱ (心理)	2			
		臨床心理査定演習Ⅰ(心理的アセスメントに関する理論と実践) (心理) ★	2			
		臨床心理査定演習Ⅱ (心理)	2			
		臨床心理基礎実習 (心理)	1			
		臨床心理実習 (心理)	1			
		地域臨床心理基礎実習(秋田における心理支援の現状) (心理)	1			
地域臨床心理実習(秋田の臨床支援施設実習) (心理)	1					
選択科目	学校心理士関連科目	教育心理査定演習		2		
		学校カウンセリング実習		2		
		学校カウンセリングの理論と実践		2		
		生徒指導特別演習		2		
	臨床心理士・公認心理師関連科目	A群	心理学研究法特論		2	
			心理統計法特論		2	
		B群	発達心理学特論		2	
			学習心理学特論		2	
			認知心理学特論		2	
			教育心理学特論		2	
		C群	家族心理学特論(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践) ★		2	
			臨床心理の倫理と関連行政論		2	
			D群	精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開) ★		2
				障害児支援におけるチームアプローチ(福祉分野に関する理論と支援の展開) ★		2
	E群	投映法特論 (心理)		2		
		心理療法特論 (心理)		2		
	公認心理師関連科目	心の健康教育に関する理論と実践 ★		2		
		教育分野に関する理論と支援の展開 ★		2		
		司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開 ★		2		
		産業・労働分野に関する理論と支援の展開 ★		2		
心理実践実習Ⅰ ★			6			
心理実践実習Ⅱ ★			6			

1. 必修科目22単位。選択科目において、「学校心理士関連科目」から2単位以上、「臨床心理士・公認心理師関連科目」のA群、B群、C群、D群、E群から各2単位以上を修得すること。

2. ★を付した科目は、「公認心理師」受験資格取得に必要な科目である。

3. 「公認心理師」受験資格の取得を希望する学生は、★を付した科目をすべて修得すること。

4. (心理)は、心理教育実践専攻学生のみ対象の科目である。

教職実践専攻

学校マネジメントコース

区分	領域	授業科目名	必修	選択	指定
共通科目	教育課程の編成・実施に関する領域	ふるさと秋田の教育資源とカリキュラム開発	2		
		個のニーズに応じたカリキュラムの編成 ※			
	教科等の実践的な指導方法に関する領域	秋田の授業力の継承と発展	2		
		ICTを活用した教育の実践と課題		2	
	生徒指導・教育相談に関する領域	児童生徒指導の理論と実践	2		
		インクルーシブの理念と特別支援教育の推進 ※			
	学級経営、学校経営に関する領域	学校・学級経営の現状と課題	2		
		学校危機管理の現状と課題	2		
	学校教育と教員の在り方に関する領域	学校教育の現代的課題	2		
		教育実践力の向上と秋田型協同研究システム	2		
スクールリーダーの役割と課題		2			
コース科目	学校マネジメント	秋田の生涯学習の理論と実践		2	
		学社連携・融合の理論と実践		2	
		学校組織文化の形成と機能		2	
		学校情報の管理と運営		2	
		地域教育行財政の理論と実践	2		
		学校経営をめぐる法と判例	2		
		学校経営戦略の分析と策定 ◆			2
		教員のサービス管理と人事考課 ◆			2
	カリキュラム・授業開発	ふるさと秋田のキャリア教育 ◇			2
		小学校英語の理論と実践		2	
		生活科・総合的な学習の時間の授業デザインと評価		2	
		国際理解教育の教材とカリキュラムの開発		2	
		情報教育の教材とカリキュラムの開発		2	
		環境教育の教材とカリキュラムの開発		2	
		ふるさと秋田における地域課題教育		2	
		道徳教育の理論と実践		2	
		特別活動の理論と実践		2	
		秋田型アクティブラーニングの授業デザインと評価 ◇			2
		小・中・高連携の教科教育カリキュラムの開発Ⅰ		2	
		小・中・高連携の教科教育カリキュラムの開発Ⅱ		2	
	教科教育実践の理論と展開		2		
	発達教育・特別支援教育	障害児支援におけるチームアプローチ ★ ※			2
		発達障害の事例分析と対応策の検討・評価 ※		2	
		コミュニケーション発達の理解と支援 ※		2	
		障害児のキャリア発達と支援 ※		2	
		特別支援教育の教育課程の実施と評価 ※		2	
		知的障害児の理解と支援 ※		2	
		肢体不自由児の理解と支援 ※		2	
	病弱児の理解と支援 ※		2		

	現代教育思想と学びの諸相		2	
	子ども理解の理論と実践	★		2
	子どもの発達と教育		2	
	子どもの教育と保育		2	
	学校カウンセリングの理論と実践		2	
	教育活動と心理学		2	
	授業実践と学習心理学		2	
	児童生徒の認知と発達 I		2	
	児童生徒の認知と発達 II		2	
教職実践コース 横断型研究科目	課題実地研究 I		1	
	課題実地研究 II		1	
	課題実地研究 III		1	
	課題実地研究 IV		1	
	秋田連携研究 I		2	
	秋田連携研究 II		2	
	支援機構研究 I		2	
	支援機構研究 II		2	
	支援機構研究 III		2	
	支援機構研究 IV		2	
	実践指導研究 I		2	
	実践指導研究 II		2	
実践省察科目	教職実践リフレクション I		1	
	教職実践リフレクション II		1	
	教職実践リフレクション III		1	
	教職実践リフレクション IV		1	
実践実習科目	教職経営プロジェクト I a		2	
	教職経営プロジェクト II a		2	
	教職経営プロジェクト I b	※	2	
	教職経営プロジェクト II b	※	2	
	教職経営プロジェクト III		3	
	教職経営プロジェクト IV		3	

1. ※を付した科目は特別支援学校教諭専修免許状取得のための科目である。

2. 指定科目は◆, ◇, ★の同じ組み合わせで, 2科目4単位を修得すること。

3. これらの科目について, 以下の組み合わせで, 必ず2科目を履修する必要がある。

「課題実地研究 I」(前期1単位)と「課題実地研究 II」(後期1単位)

「課題実地研究 III」(前期1単位)と「課題実地研究 IV」(後期1単位)

「教職実践リフレクション I」(前期1単位)と「教職実践リフレクション II」(後期1単位)

「教職実践リフレクション III」(前期1単位)と「教職実践リフレクション IV」(後期1単位)

「教職経営プロジェクト I a」(前期2単位)と「教職経営プロジェクト II a」(後期2単位)

「教職経営プロジェクト I b」(前期2単位)と「教職経営プロジェクト II b」(後期2単位)

「教職経営プロジェクト III」(前期3単位)と「教職経営プロジェクト IV」(後期3単位)

教職実践専攻

カリキュラム・授業開発コース

区分	領域	授業科目名	必修	選択
共通科目	教育課程の編成・実施に関する領域	ふるさと秋田の教育資源とカリキュラム開発		2
		個のニーズに応じたカリキュラムの編成 ※		2
	教科等の実践的な指導方法に関する領域	秋田の授業力の継承と発展		2
		ICTを活用した教育の実践と課題		2
	生徒指導・教育相談に関する領域	児童生徒指導の理論と実践		2
		インクルーシブの理念と特別支援教育の推進 △ ※		2
	学級経営、学校経営に関する領域	学校・学級経営の現状と課題		2
		学校危機管理の現状と課題 △		2
	学校教育と教員の在り方に関する領域	学校教育の現代的課題		2
		教育実践力の向上と秋田型協同研究システム		2
スクールリーダーの役割と課題 ●			2	
コース科目	学校マネジメント	秋田の生涯学習の理論と実践		2
		学社連携・融合の理論と実践		2
		学校組織文化の形成と機能		2
		学校情報の管理と運営		2
	カリキュラム・授業開発	ふるさと秋田のキャリア教育		2
		小学校英語の理論と実践 ■		2
		生活科・総合的な学習の時間の授業デザインと評価		2
		国際理解教育の教材とカリキュラムの開発		2
		情報教育の教材とカリキュラムの開発		2
		環境教育の教材とカリキュラムの開発		2
		ふるさと秋田における地域課題教育		2
		道徳教育の理論と実践		2
		特別活動の理論と実践		2
		秋田型アクティブラーニングの授業デザインと評価	2	
		小・中・高連携の教科教育カリキュラムの開発Ⅰ		2
		小・中・高連携の教科教育カリキュラムの開発Ⅱ		2
		教科教育実践の理論と展開		2
	発達教育・特別支援教育	障害児支援におけるチームアプローチ ※		2
		発達障害の事例分析と対応策の検討・評価 ※		2
		コミュニケーション発達の理解と支援 ※		2
		障害児のキャリア発達と支援 ※		2
		特別支援教育の教育課程の実施と評価 ※		2
		知的障害児の理解と支援 ※		2
		肢体不自由児の理解と支援 ※		2
		病弱児の理解と支援 ※		2
		現代教育思想と学びの諸相		2
		子ども理解の理論と実践		2
		子どもの発達と教育		2
		子どもの教育と保育		2
		学校カウンセリングの理論と実践		2
教育活動と心理学		2		
授業実践と学習心理学		2		
児童生徒の認知と発達Ⅰ		2		

	児童生徒の認知と発達Ⅱ		2
教職実践コース 横断型研究科目	課題実地研究Ⅰ		1
	課題実地研究Ⅱ		1
	課題実地研究Ⅲ		1
	課題実地研究Ⅳ		1
	秋田連携研究Ⅰ		2
	秋田連携研究Ⅱ		2
	支援機構研究Ⅰ		2
	支援機構研究Ⅱ		2
	支援機構研究Ⅲ		2
	支援機構研究Ⅳ		2
	実践指導研究Ⅰ		2
	実践指導研究Ⅱ		2
実践省察科目	教職実践リフレクションⅠ		1
	教職実践リフレクションⅡ		1
	教職実践リフレクションⅢ		1
	教職実践リフレクションⅣ		1
実践実習科目	教職実践プロジェクトⅠa	●	2
	教職実践プロジェクトⅡa	●	2
	教職実践プロジェクトⅠb	● ※	2
	教職実践プロジェクトⅡb	● ※	2
	教職実践プロジェクトⅢa	●	3
	教職実践プロジェクトⅣa	●	3
	教職実践プロジェクトⅢb	● ※	3
	教職実践プロジェクトⅣb	● ※	3
	教職実践インターンシップⅠa	○	2
	教職実践インターンシップⅡa	○	2
	教職実践インターンシップⅠb	○ ※	2
	教職実践インターンシップⅡb	○ ※	2
	教職実践インターンシップⅢa	○	3
	教職実践インターンシップⅣa	○	3
	教職実践インターンシップⅢb	○ ※	3
	教職実践インターンシップⅣb	○ ※	3

- ※を付した科目は特別支援学校教諭専修免許状取得のための科目である。
- 小学校教諭専修免許状の取得を希望する学生は■を付した科目を受講すること。
- は現職教員学生が対象の科目、○は学部卒学生が対象の科目である。
- △を付した科目は、学部卒学生は2年次で受講すること。
- これらの科目について、以下の組み合わせで、必ず2科目を履修する必要がある。
「課題実地研究Ⅰ」(前期1単位)と「課題実地研究Ⅱ」(後期1単位)
「課題実地研究Ⅲ」(前期1単位)と「課題実地研究Ⅳ」(後期1単位)
「教職実践リフレクションⅠ」(前期1単位)と「教職実践リフレクションⅡ」(後期1単位)
「教職実践リフレクションⅢ」(前期1単位)と「教職実践リフレクションⅣ」(後期1単位)
「教職実践プロジェクトⅠa」(前期2単位)と「教職実践プロジェクトⅡa」(後期2単位)
「教職実践プロジェクトⅠb」(前期2単位)と「教職実践プロジェクトⅡb」(後期2単位)
「教職実践プロジェクトⅢa」(前期3単位)と「教職実践プロジェクトⅣa」(後期3単位)
「教職実践プロジェクトⅢb」(前期3単位)と「教職実践プロジェクトⅣb」(後期3単位)
「教職実践インターンシップⅠa」(前期2単位)と「教職実践インターンシップⅡa」(後期2単位)
「教職実践インターンシップⅠb」(前期2単位)と「教職実践インターンシップⅡb」(後期2単位)
「教職実践インターンシップⅢa」(前期3単位)と「教職実践インターンシップⅣa」(後期3単位)
「教職実践インターンシップⅢb」(前期3単位)と「教職実践インターンシップⅣb」(後期3単位)

教職実践専攻

発達教育・特別支援教育コース

区分	領域	授業科目名	必修	選択
共通科目	教育課程の編成・実施に関する領域	ふるさと秋田の教育資源とカリキュラム開発		2
		個のニーズに応じたカリキュラムの編成 ※		2
	教科等の実践的な指導方法に関する領域	秋田の授業力の継承と発展		2
		ICTを活用した教育の実践と課題		2
	生徒指導・教育相談に関する領域	児童生徒指導の理論と実践		2
		インクルーシブの理念と特別支援教育の推進 △ ※		2
	学級経営、学校経営に関する領域	学校・学級経営の現状と課題		2
		学校危機管理の現状と課題 △		2
	学校教育と教員の在り方に関する領域	学校教育の現代的課題		2
		教育実践力の向上と秋田型協同研究システム		2
		スクールリーダーの役割と課題 ●		2
	コース科目	学校マネジメント	秋田の生涯学習の理論と実践	
学社連携・融合の理論と実践				2
学校組織文化の形成と機能				2
学校情報の管理と運営				2
カリキュラム・授業開発		ふるさと秋田のキャリア教育		2
		小学校英語の理論と実践 ■		2
		生活科・総合的な学習の時間の授業デザインと評価		2
		国際理解教育の教材とカリキュラムの開発		2
		情報教育の教材とカリキュラムの開発		2
		環境教育の教材とカリキュラムの開発		2
		ふるさと秋田における地域課題教育		2
		道徳教育の理論と実践		2
		特別活動の理論と実践		2
		秋田型アクティブラーニングの授業デザインと評価		2
		小・中・高連携の教科教育カリキュラムの開発 I		2
		小・中・高連携の教科教育カリキュラムの開発 II		2
		教科教育実践の理論と展開		2
発達教育・特別支援教育		障害児支援におけるチームアプローチ ※	2	
		発達障害の事例分析と対応策の検討・評価 ※	2	
		コミュニケーション発達の理解と支援 ※	2	
		障害児のキャリア発達と支援 ※	2	
		特別支援教育の教育課程の実施と評価 ※	2	
		知的障害児の理解と支援 ※	2	
		肢体不自由児の理解と支援 ※	2	
		病弱児の理解と支援 ※	2	
		現代教育思想と学びの諸相		2
		子ども理解の理論と実践	2	
		子どもの発達と教育		2
		子どもの教育と保育		2
		学校カウンセリングの理論と実践		2
教育活動と心理学		2		
授業実践と学習心理学		2		
児童生徒の認知と発達 I		2		

	児童生徒の認知と発達Ⅱ		2
教職実践コース 横断型研究科目	課題実地研究Ⅰ		1
	課題実地研究Ⅱ		1
	課題実地研究Ⅲ		1
	課題実地研究Ⅳ		1
	秋田連携研究Ⅰ		2
	秋田連携研究Ⅱ		2
	支援機構研究Ⅰ		2
	支援機構研究Ⅱ		2
	支援機構研究Ⅲ		2
	支援機構研究Ⅳ		2
	実践指導研究Ⅰ		2
	実践指導研究Ⅱ		2
	実践省察科目	教職実践リフレクションⅠ	
教職実践リフレクションⅡ			1
教職実践リフレクションⅢ			1
教職実践リフレクションⅣ			1
実践実習科目	教職実践プロジェクトⅠa	●	2
	教職実践プロジェクトⅡa	●	2
	教職実践プロジェクトⅠb	● ※	2
	教職実践プロジェクトⅡb	● ※	2
	教職実践プロジェクトⅢa	●	3
	教職実践プロジェクトⅣa	●	3
	教職実践プロジェクトⅢb	● ※	3
	教職実践プロジェクトⅣb	● ※	3
	教職実践インターンシップⅠa	○	2
	教職実践インターンシップⅡa	○	2
	教職実践インターンシップⅠb	○ ※	2
	教職実践インターンシップⅡb	○ ※	2
	教職実践インターンシップⅢa	○	3
	教職実践インターンシップⅣa	○	3
	教職実践インターンシップⅢb	○ ※	3
	教職実践インターンシップⅣb	○ ※	3

- ※を付した科目は特別支援学校教諭専修免許状取得のための科目である。
- 小学校教諭専修免許状の取得を希望する学生は■を付した科目を受講すること。
- は現職教員学生が対象の科目、○は学部卒学生が対象の科目である。
- △を付した科目は、学部卒学生は2年次で受講すること。
- これらの科目について、以下の組み合わせで、必ず2科目を履修する必要がある。

「課題実地研究Ⅰ」(前期1単位)と「課題実地研究Ⅱ」(後期1単位)

「課題実地研究Ⅲ」(前期1単位)と「課題実地研究Ⅳ」(後期1単位)

「教職実践リフレクションⅠ」(前期1単位)と「教職実践リフレクションⅡ」(後期1単位)

「教職実践リフレクションⅢ」(前期1単位)と「教職実践リフレクションⅣ」(後期1単位)

「教職実践プロジェクトⅠa」(前期2単位)と「教職実践プロジェクトⅡa」(後期2単位)

「教職実践プロジェクトⅠb」(前期2単位)と「教職実践プロジェクトⅡb」(後期2単位)

「教職実践プロジェクトⅢa」(前期3単位)と「教職実践プロジェクトⅣa」(後期3単位)

「教職実践プロジェクトⅢb」(前期3単位)と「教職実践プロジェクトⅣb」(後期3単位)

「教職実践インターンシップⅠa」(前期2単位)と「教職実践インターンシップⅡa」(後期2単位)

「教職実践インターンシップⅠb」(前期2単位)と「教職実践インターンシップⅡb」(後期2単位)

「教職実践インターンシップⅢa」(前期3単位)と「教職実践インターンシップⅣa」(後期3単位)

「教職実践インターンシップⅢb」(前期3単位)と「教職実践インターンシップⅣb」(後期3単位)

履修方法（2023年度入学者）

教育学研究科規程 別表2

心理教育実践専攻

心理教育実践コース

区 分	科目区分	修得単位数	備 考
必 修	共通科目	6 単位	
	臨床心理士・公認心理師 関連科目	16 単位	
選 択	学校心理士関連科目	2 単位	
	臨床心理士・公認心理師 関連科目	10 単位	A群からE群までの各科目群からそれぞれ2単位
合 計		34 単位	

教職実践専攻

学校マネジメントコース

区 分	科目区分	修得単位数	備 考
必 修	共通科目	16 単位	選択必修4単位を含む
	コース科目	4 単位	所属コースの必修科目4単位
	実践省察科目	2 単位	注(1)参照
	実践実習科目	10 単位	注(1)参照
選 択	指定科目（所属コース科目又は他コース科目）	4 単位	所属コース科目又は他コース科目の指定科目4単位
	共通科目，コース科目，他コース科目及び教職実践コース横断型研究科目	10 単位	共通科目，所属コース科目，他コース科目及び教職実践コース横断型研究科目から10単位 注(1)参照
合 計		46 単位	

カリキュラム・授業開発コース

発達教育・特別支援教育コース

区 分	科目区分	修得単位数	備 考
必 修	共通科目	20 単位	
	コース科目	4 単位	所属コースの必修科目4単位
	実践省察科目	4 単位	注(2)参照
	実践実習科目	10 単位	注(3)参照
選 択	コース科目	4 単位	所属コース科目から4単位
	コース科目，他コース科目及び教職実践コース横断型研究科目	4 単位	所属コース科目，他コース科目及び教職実践コース横断型研究科目から4単位 注(2)(3)参照
合 計		46 単位	

注(1)開設科目について，以下の組み合わせにより，必ず2科目（通年）を履修する必要がある。

「課題実地研究Ⅰ」（前期集中1単位）と「課題実地研究Ⅱ」（後期集中1単位）

「課題実地研究Ⅲ」（前期集中1単位）と「課題実地研究Ⅳ」（後期集中1単位）

「教職実践リフレクションⅠ」（前期1単位）と「教職実践リフレクションⅡ」（後期1単位）

「教職実践リフレクションⅢ」（前期1単位）と「教職実践リフレクションⅣ」（後期1単位）

「教職経営プロジェクトⅠa」（前期2単位）と「教職経営プロジェクトⅡa」（後期2単位）

「教職経営プロジェクトⅠb」（前期2単位）と「教職経営プロジェクトⅡb」（後期2単位）

「教職経営プロジェクトⅢ」（前期3単位）と「教職経営プロジェクトⅣ」（後期3単位）

学校マネジメントコースの学生のうち、履修年限1年の学生は、「教職経営プロジェクトⅢ」及び「教職経営プロジェクトⅣ」の6単位分を以下の措置で代替する。

- ① 1年次前期のリフレクションを通じて「教職経営リフレクションレポートⅠ」を作成し、評価の上、2単位分として認定する。
- ② 1年次後期のリフレクションのまとめとして、「教職経営リフレクションレポートⅡ」(学校経営アクションプラン)を作成し、評価の上、4単位分として認定する。このレポートを実践研究報告書として提出し、審査を受けるものとする。

履修年限が2年以上となる学生は、2年次に「教職経営プロジェクトⅢ」及び「教職経営プロジェクトⅣ」の6単位を必修とし、加えて「教職実践リフレクションⅢ」及び「教職実践リフレクションⅣ」を履修する。

- ① 1年次のリフレクションを通じて「教職経営リフレクションレポートⅠ」を作成する。
- ② 2年次のリフレクションを通じて「教職経営リフレクションレポートⅡ」(学校経営アクションプラン)を作成する。このレポートを実践研究報告書として提出し、審査を受けるものとする。

注(2)開設科目について、以下の組み合わせにより、必ず2科目(通年)を履修する必要がある。

- 「課題実地研究Ⅰ」(前期集中1単位)と「課題実地研究Ⅱ」(後期集中1単位)
- 「課題実地研究Ⅲ」(前期集中1単位)と「課題実地研究Ⅳ」(後期集中1単位)
- 「教職実践リフレクションⅠ」(前期1単位)と「教職実践リフレクションⅡ」(後期1単位)
- 「教職実践リフレクションⅢ」(前期1単位)と「教職実践リフレクションⅣ」(後期1単位)

カリキュラム・授業開発コース及び発達教育・特別支援教育コースの学生は、「教職実践リフレクション」にかかる4科目4単位を必修とする。

- ① 1年次のリフレクションを通じて「教職実践リフレクションレポートⅠ」を作成する。
- ② 2年次のリフレクションを通じて「教職実践リフレクションレポートⅡ(現職教員は、学校改善アクションプラン)」を作成する。このレポートを実践研究報告書として提出し、審査を受けるものとする。

注(3)開設科目について、以下の組み合わせにより、必ず2科目(通年)を履修する必要がある。

- 「課題実地研究Ⅰ」(前期集中1単位)と「課題実地研究Ⅱ」(後期集中1単位)
- 「課題実地研究Ⅲ」(前期集中1単位)と「課題実地研究Ⅳ」(後期集中1単位)
- 「教職実践プロジェクトⅠa」(前期2単位)と「教職実践プロジェクトⅡa」(後期2単位)
- 「教職実践プロジェクトⅠb」(前期2単位)と「教職実践プロジェクトⅡb」(後期2単位)
- 「教職実践プロジェクトⅢa」(前期3単位)と「教職実践プロジェクトⅣa」(後期3単位)
- 「教職実践プロジェクトⅢb」(前期3単位)と「教職実践プロジェクトⅣb」(後期3単位)
- 「教職実践インターンシップⅠa」(前期2単位)と「教職実践インターンシップⅡa」(後期2単位)
- 「教職実践インターンシップⅠb」(前期2単位)と「教職実践インターンシップⅡb」(後期2単位)
- 「教職実践インターンシップⅢa」(前期3単位)と「教職実践インターンシップⅣa」(後期3単位)
- 「教職実践インターンシップⅢb」(前期3単位)と「教職実践インターンシップⅣb」(後期3単位)

カリキュラム・授業開発コース及び発達教育・特別支援教育コースの現職教員学生は、「教職実践プロジェクト」にかかる4科目10単位を必修とする。

カリキュラム・授業開発コース及び発達教育・特別支援教育コースの現職教員学生以外の学生は、「教職実践インターンシップ」にかかる4科目10単位を必修とする。